

2023年4月19日

朝日放送テレビ株式会社

ニューヨークフェスティバルで銀賞受賞

「こどもホスピス いのち輝く“第2のおうち”」(ドキュメンタリー・教育部門)

【概要】

朝日放送テレビ制作のテレメンタリー「こどもホスピス いのち輝く“第2のおうち”」が2023年ニューヨークフェスティバルの【ドキュメンタリー・教育部門】で銀賞を初受賞しました。またABCドキュメンタリースペシャル「パパがある日女性に」が【ドキュメンタリー・社会問題部門】で入賞を果たしました。

【内容】

小児がんや心臓の病気など、“命を脅かす重い病気”と闘っている子どもたちは、国内に2万人以上いるとされている。治療の間、子どもたちはそれまでの日常から切り離され、いつ終わるともわからぬ入院生活の毎日が続く。



大阪市鶴見区の小児ホスピス「TSURUMIこどもホスピス」を訪れるのは、「人生の大半を『治療』が占めてしまう」子どもたち。国内初の民間小児ホスピスとして2016年春にオープン。砂遊びやプール遊びなど、病院では経験することが難しい遊びが、ここでなら家族と楽しむことができる。看護師や保育士といった資格を持つスタッフ

が、病院と連携をとりながら、病気の子本人と、そのきょうだい、親のケアにあたるのだ。

白血病と闘う4歳の女の子は仲良しの兄たちと離れ離れになり、病室でたった一人過ごす夜があった。「この子の今後の世界ってどうなっていくんだろうと不安がいっぱいでした」(母親)。そんな一家はホスピスのケアを受けることで、穏やかな家族の時間を取り戻していく。「いち人間としてその子の友達になれるか。そのご家族の友人のように寄り添えるか。そのような関係を日々作り出しています」(TSURUMIこどもホスピス・水谷綾さん)

こどもホスピス——。そこは決して悲しみに満ちた場所ではない。人の温もりに包まれながら、“深く、懸命に生きる”子どもと家族の姿を追った。

プロデューサー ……西 一樹

ディレクター ……長谷川 健

